

IOボードライブラリ導入手順

プロジェクト作成

Visual Studioを起動します。(例 : visual studio 2017 community)

↓

「新規作成」

↓

「プロジェクト」

↓

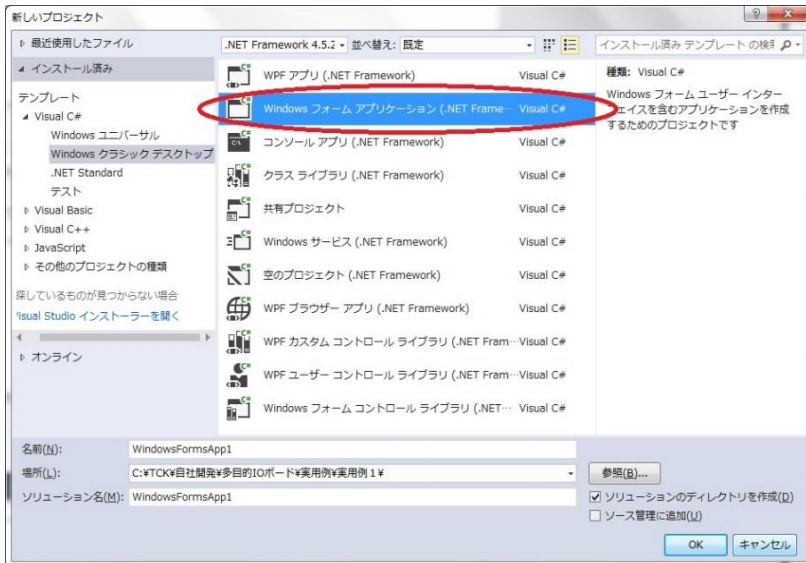
最近

新しいプロジェクト



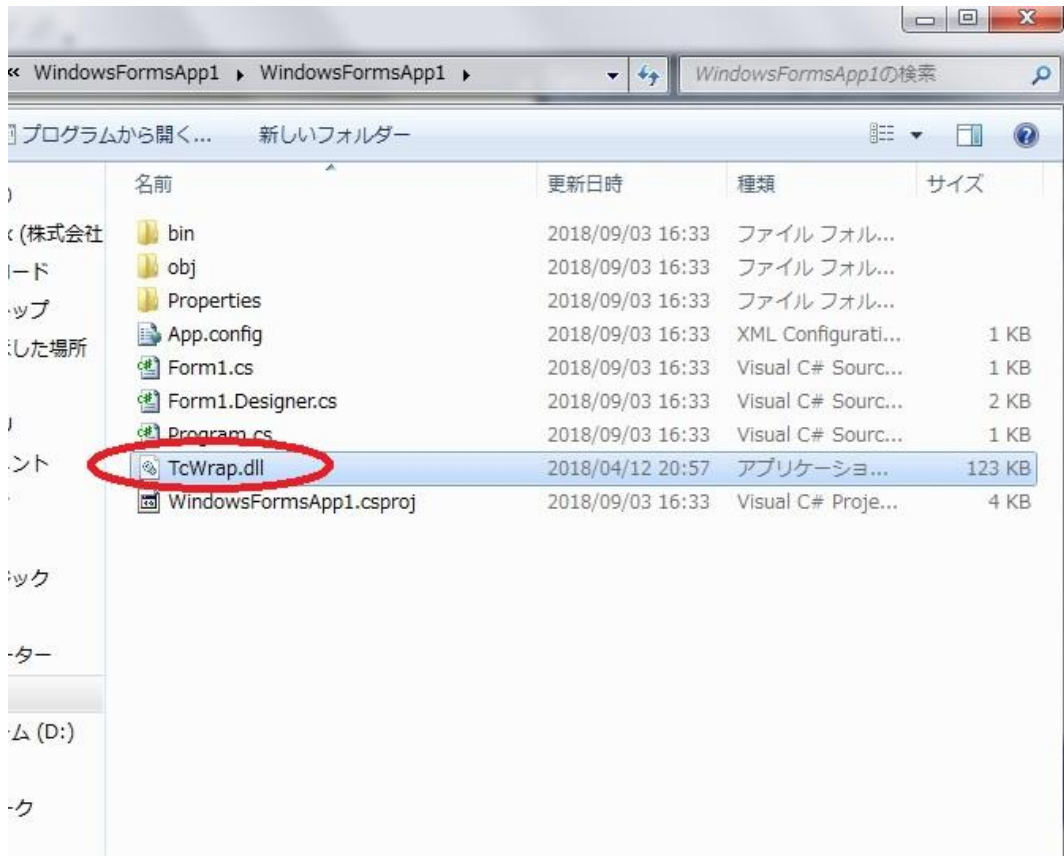
「新しいプロジェクト」内でWindowsフォームアプリケーションを選択。ソリューション名は任意でOK

(勿論フォームアプリ以外でも問題ありません)



ライブラリファイルの設置

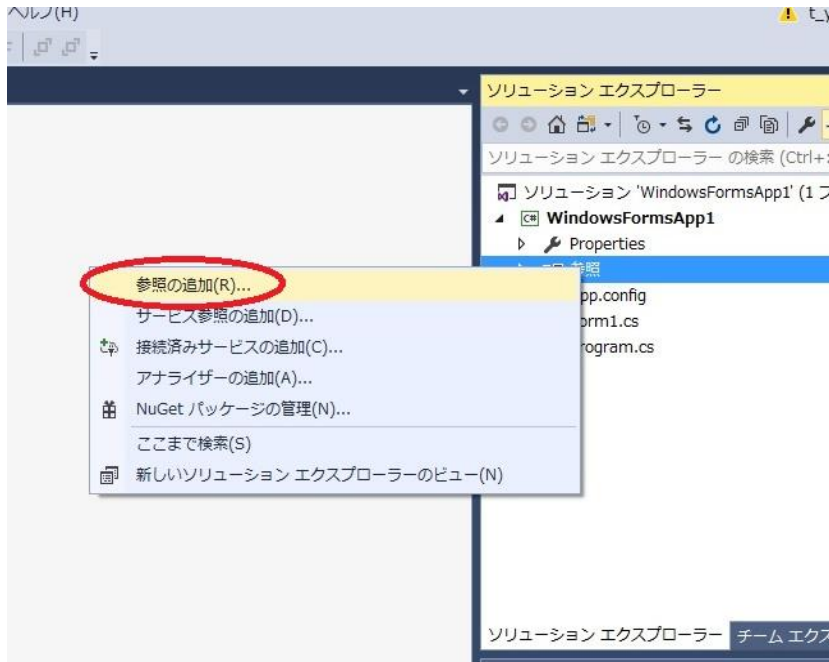
プロジェクトフォルダ内（ソースファイルが置かれている場所）に付属の「TcWrap.dll」を置きます。



(このディレクトリを後で参照するわけですが、設置場所は任意です)

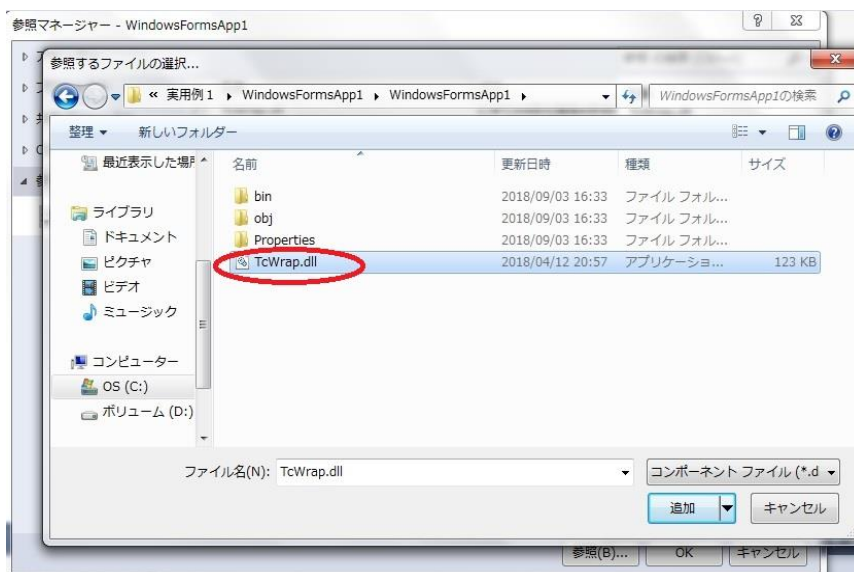
プロジェクトからの参照

「ソリューションエクスプローラ」内、「参照」右クリックで「参照の追加」を選択。



ウィンドウ左側「参照」→「参照」ボタン押下→ライブラリファイル設置で「TcWrap.dll」を置いた場所にフォルダ移動。

「TcWrap.dll」を指定する。



ライブラリクラスの使用

```
5 using System.Drawing;
6 using System.Linq;
7 using System.Text;
8 using System.Threading.Tasks;
9 using System.Windows.Forms;
10
11 using TcWrap; //ライブラリ用の名前空間
12
13 namespace WindowsFormsApp1
14 {
15     public partial class Form1 : Form
16     {
17
18         //IOボードライブラリ
19         TcUsbCdcLib tcUsbCdcLib;
20
21         public Form1()
22         {
23             InitializeComponent();
24         }
25
26         private void Form1_Load(object sender, EventArgs e)
27         {
28
29             //IOボードライブラリのインスタンス生成
30             tcUsbCdcLib = new TcUsbCdcLib();
31             tcUsbCdcLib.Open(); //通信ポート オープン
32
33             //デジタル出力カメソッドサンプル
34             tcUsbCdcLib.DigitalOut(0, 1); //ch0 ON
35
36             //アナログ入力カメソッドサンプル
37             int data = tcUsbCdcLib.AnalogIn(0); //ch0 取得
38
39         }
40     }
41 }
```

①using追加

②IOボードライブラリ定義追加

③Loadメソッド等の初期処理を行う場所でクラスインスタンス生成

④Openメソッド呼び出し

以降、各メソッドが使用できます。

- DigitalOutメソッド
- DigitalInメソッド
- AnalogOutメソッド
- AnalogInメソッド